

この号の内容>>>

- 第7回日本在宅医療連合学会大会が開催されました
- まちななかラウンジでは、医療・介護の相談を受けて、こんな対応をしています
- 各地域で在宅医療講座と出張講座を開催しています
- 講座・研修会のご案内



まちななかラウンジNEWS

第7回 日本在宅医療連合学会大会が開催されました

「第7回日本在宅医療連合学会大会」が6月14日(土)・15日(日)の両日、出島メッセ長崎において「在宅医療の未来を語ろう～2025年問題に向き合い、2040年に備える～長崎から全国へ」をテーマに全国から約3,500人の医療・介護関係者等を集めて開催されました。

大会では、「在宅医療」「人生会議(ACP)」「地域包括ケアシステム」等についての特別講演、シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッションなど多彩なプログラムが編成され、在宅医療等に関して、これまでの総括とこれからの道標を示す様々な視点からの発表や意見交換がありました。在宅医療と介護の連携拠点として活動しているまちななかラウンジからも主幹の宮地が「長崎市の地域包括ケアシステムと多職種連携～20年の総括と検証～」と題したシンポジウムに出演し、まちななかラウンジについての発表を行いました。この大会で発表された在宅医療や地域包括ケアシステムの深化・推進等に関する学術的な考えや様々な取組みを参考にして、まちななかラウンジの事業にも活用してまいります。



6月30日付け長崎新聞の記事

まちななかラウンジでは、医療・介護の相談を受けて、こんな対応をしています

まちななかラウンジでは、市民の皆さんからの病気や介護に関するご相談や医療・介護関係者(専門職)からの在宅医療・介護連携に関するご相談を受け付けています。

【相談・対応例】

- 余命が限られた入院中の父について、退院して自宅で療養してはどうかと病院から高齢の母に説明があったが、どうすればいいかわからないと相談があった事例
→ 在宅医療や介護保険のしくみやお父さんの気持ちを大切にすることを説明し自宅療養となった。自宅では、訪問診療や訪問看護等を利用して最期まで家族一緒に暮らすことができた。
- 40年間離れて暮らし、遠い故郷で入院中の母を、長崎で看取りたいと相談があった事例
→ 長崎の診療所を紹介したところ、入院中の病院と長崎の診療所が連携して長崎に移すことができた。長崎では診療所に入院後、自宅での療養となり、最期は診療所で看取ることができた。
- 肝臓の病気を患い入退院を繰り返しているがどうすればいいかと相談があった事例
→ 在宅医療や介護保険等について説明したが経済的に苦しいということであったため、相談員からかかりつけの病院に身体障害者手帳が申請できないかと相談したところ、肝臓機能障害1級の身体障害者手帳が交付され、福祉医療受給者証も発行されて医療費の助成が受けられるようになり、安心して治療できるようになった。

病院の先生は忙しくて相談しにくい、どこに相談したらいいのかわからないという時など、どんな相談でも受け付けますのでお気軽にご相談ください。難病に関するご相談も受け付けています。相談受付時間は、月曜日～金曜日8:45～17:30(土・日・祝日・8月15日・年末年始は休み)です。まずはお電話ください。直接来所していただいてもご相談を受け付けます。

各地域で在宅医療講座と出張講座を開催しています

市民の皆さんが医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう在宅医療や人生会議（ACP）を紹介する「在宅医療講座」や皆様の要望により相談員が出向く「出張講座」を各地域で開催しています。今年度に入ってから、各地域包括支援センターと協力して次のとおり開催しました。



【在宅医療講座】「教えて！在宅医療と介護～もしもの時の医療と介護・そして人生会議～」

- 第1回 5月28日(水) 西城山交流センター 緑が丘包括共催 参加者21名
- 第2回 6月19日(木) 日見地区ふれあいセンター 日見・橘包括共催 参加者13名
- 第3回 7月23日(水) 黒崎地区公民館 三重・外海包括共催 参加者7名

【出張講座】※地域等からの要請により、まちななかラウンジ相談員が出向いて開催する講座

- ① 5月29日(木) 老人福祉センターしらゆり荘 参加者18名
- ② 6月12日(木) 高齢者ふれあいサロン「式見さんさん会」 参加者12名
- ③ 6月18日(水) 小島・茂木地区居宅連絡会 参加者24名
- ④ 6月21日(土) 北公民館（済生会病院主催）「みんなの健康講座」 参加者22名
- ⑤ 7月31日(木) 滑石・横尾地域包括支援センター「家族等介護教室」

「もしバナゲーム」をしてみませんか？

「もしバナゲーム」とは、「もしも」の状況（終末期）を想定し、自分が大切にしたいことや価値観をカードを使いながら考え、他の人と共有することで、より良い人生を過ごすための準備や人生会議を促すためのゲームです。まちななかラウンジでは、「在宅医療講座」や「出張講座」に「もしバナゲーム」を取り入れています。カードの貸し出しもしていますのでお気軽にお問い合わせください。



講座・研修会のご案内 ※ご案内は、長崎市（まちななかラウンジ）ホームページにも掲載します。

市民向け講座（在宅医療講座「長崎の在宅医療」）

- ① 9月4日(木)14:00～15:30 メルカつきまち
講師：医療法人白髭内科医院 院長 白髭 豊 先生
- ② 10月25日(土)13:30～15:00 香焼公民館
講師：医療法人たぐま医院 院長 詫摩和彦先生
- ③ 11月1日(土) 14:00～15:30 滑石公民館
講師：はらだ内科医院 院長 原田義高 先生

令和7年度まちななかラウンジ在宅医療講座
長崎の在宅医療
～もしもの時の医療と介護～そして人生会議～

講座の内容
① 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生
② 講演 在宅医療の現状と未来 講師 詫摩和彦 先生
③ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 原田義高 先生
④ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生
⑤ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 詫摩和彦 先生
⑥ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 原田義高 先生
⑦ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生
⑧ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 詫摩和彦 先生
⑨ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 原田義高 先生
⑩ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生

令和7年度まちななかラウンジ在宅医療講座
長崎の在宅医療
～もしもの時の医療と介護～そして人生会議～

講座の内容
① 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生
② 講演 在宅医療の現状と未来 講師 詫摩和彦 先生
③ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 原田義高 先生
④ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生
⑤ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 詫摩和彦 先生
⑥ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 原田義高 先生
⑦ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生
⑧ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 詫摩和彦 先生
⑨ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 原田義高 先生
⑩ 講演 在宅医療の現状と未来 講師 白髭 豊 先生

医療・介護関係者（専門職）向け研修会

- ① 多職種研修会「元気なうちから手帳」活用事例PART 5
8月26日(火)19:00～20:30 オンライン研修
講師：ケアセンターゆめライフ 管理者 柳川 裕美 主任介護支援専門員
家族の立場から 松永 俊彦 氏
- ② 在宅医療各種課題検討会「急変時の対応」
9月10日(水)19:00～20:30 オンライン研修
講師：長崎市消防局 中倉 佑太 司令・渋谷 洋平 司令補
- ③ 在宅医療推進講座「診療所医師による在宅医療への取り組み」
9月17日(水) 19:00～21:00 オンライン研修
講師：医療法人阿保外科医院 院長 阿保 貴章 先生
- ④ 在宅看・看連携事例検討会
9月25日(木)18:30～20:30 オンラインカンファレンス
アドバイザー：大町 由里 氏、下屋敷 元子 氏、宮地 登代子 氏

令和7年度まちななかラウンジ第1期研修会
在宅医療
～元気なうちから手帳～活用事例PART 5

令和7年度まちななかラウンジ第2期研修会
在宅医療
～急変時の対応～

令和7年度まちななかラウンジ第3期研修会
在宅医療
～診療所医師による在宅医療への取り組み～

長崎市包括ケアまちななかラウンジ 医療・介護の相談受付 在宅医療・介護の連携支援

住所 長崎市江戸町6-5 江戸町センタービル2階
電話 095-893-6621 FAX 095-826-3021
Eメール machinnaka@muse.ocn.ne.jp
開設時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30
(土・日曜日・祝日・年末年始・8月15日はお休み)

まちななかラウンジ



ホームページ
2次元バーコード